

## ロジカルシンキング入門講座

～論理的思考で仕事に差をつけよう!～

## ●セミナーのねらい

ロジカルシンキングは、ビジネス上の問題解決やコミュニケーションを円滑に行うために、ビジネスパーソンが身につけておきたい必須スキルです。しかしながら、「本を読む等して理解したつもりでいたが、実際のビジネスで使うことができない」「どの場面でどう使えばよいか具体的なイメージがつかめない」という方も多いようです。

本セミナーでは、ロジカルシンキングの基本を簡単なケースワークを踏まえて体感的に学んでいただきます。そして、日々の業務での活用方法を具体的な演習を通じて学び、翌日からの行動改善につながる内容となっております。ロジカルシンキングを仕事に活かせるようになりたい方におすすめです。ぜひ、この機会にご参加ください。

## ●対象者

若手・中堅社員の皆さま  
ロジカルシンキングを学びたい皆さま

## 講師

キャリアアップ・ラボ株式会社  
パートナー講師

鈴木 泰詩 氏



1977年生まれ。前職はリクルート主要都市総代理店。2007年に独立。現在は、企業における従業員教育制度や評価制度設計に関する制度コンサルティング業務および大手企業・学校法人・財団法人など幅広い業界・組織に対して各種スキル研修の開発および登壇業務を行う。2013年、株式会社ワークセッションを設立。同代表取締役役に就任。専門分野は「組織行動学。自らも30名の従業員を抱える経営実務者として、理論ばかりに傾倒しない再現性の高い知識を提供することに努めている。」

開催日時	2024年10月8日(火) 9:30～16:30	
会場	ちゅうぎん岡山駅前ビル 4F 会議室	オンライン会議システム Zoom
定員	20名	20名 ※最小催行人数に満たない場合は開催を中止する場合がございます。
受講料	維持会員: 8,800円(税込) 賛助会員: 13,200円(税込) 会員でない方: 26,400円(税込) ※テキスト代含む	

## ●セミナープログラム

※録音・録画はご遠慮願います。

## 1 オリエンテーション

## 2 ロジカルシンキングとは

- 論理性の基本ルールとは
- 論理的思考のメリットと限界点
- 論理的思考に用いる4つの型
- 論理的思考を高めるもう一つのスキル＝「構造化」

## 3 日々の業務でロジカルシンキングは生かせる?

- 論理的思考を日々の業務と繋げてみよう!
- お客様への提案活動に論理的思考を生かしてみる(お客様向け論理的思考)
- 上司先輩への方向業務に論理的思考を生かしてみる(上司先輩向け論理的思考)
- 自らの仕事の優先順位付けに論理的思考を生かしてみる(自分自身向け論理的思考)
- 自らの仕事をプロセスにかみ砕き、どこが成果の足枷になっているのかを見極めてみる(自分自身向け論理的思考)

## 4 課題解決とロジカルシンキング

- 日々の業務課題を認識してみよう
- 原因分析と論理的思考の繋がり  
～ロジックツリーと構造化を意識して原因分析してみる～
- 「今日の研修が面白くない」理由をロジックツリーで分解してみる!
- 構造化を支援する様々なフレームワーク

## 5 アクションプラン作成

- SMARTの法則でアクションプランを作成
- グループ共有(決意表明)

お申込み方法

## STEP1

岡山経済研究所セミナーの  
WEBサイトにアクセス

岡山経研セミナー 検索



## STEP2

セミナーお申込み  
フォームに入力

## STEP3

入力内容を  
「確認」「回答」

## STEP4

会場 開催の約2週間前に  
受講票が請求書と共に届く  
オンライン 開催の約1週間前に  
ご案内メールをお送りします。  
※資料は郵送

## 受講料のお支払い方法

開催日の約2週間前をめどに、請求書、振込用紙をお送りいたします。  
開催日の前日までにお振込みください。  
(会場受講をご希望の方には受講票を同封します。)

## 受講キャンセル

【会場受講の場合】 開催日の2営業日前の17時まで  
【オンライン受講の場合】 開催日の4営業日前の17時まで  
入金済みの受講料を全額ご返金致します。その後のキャンセルについては、ご入金の有無にかかわらず受講料を申し受けます。ご了承ください。なお、ご都合により代理出席は差し支えありません。

お申込み  
問合せ先

一般財団法人 岡山経済研究所 〒700-0823 岡山市北区丸の内1丁目15-20  
TEL:086-234-6534 E-mail: ori@mx.mesh.ne.jp URL http://www.okayama-eri.or.jp/

主催 中国銀行・岡山経済研究所